

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：子ども相談センター費

事業名 子ども相談センター等感染症拡大防止対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111（内 2679）

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000千円（前年度予算額：0千円）

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症により、虐待通告や児童家庭相談への対応が困難になること、虐待を受けている子どもをはじめとする要保護児童の一時保護所への入所ができなくなることを避け、継続的なサービス提供が可能となるよう、対策を講じる必要がある。

(2) 事業内容

子ども相談センター等において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のために必要となる衛生用品や、備品を調達する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2、県 1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	3,000	衛生用品、感染防止のための備品
合計	3,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

児童養護施設等において、新型コロナウイルスの感染症対策として、感染経路遮断のために必要な衛生用品等を調達する必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R) %
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R) %

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）

○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価)

○ 新型コロナウイルス感染症が「警戒を緩めることができない」状況にあり、県民の健康被害を最小限に抑える上で、県内感染拡大防止のための整備等は極めて重要である。

- ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）

○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている

△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○ 新型コロナウイルス感染症により、虐待を受けている子どもを初めとする要保護児童が、施設等の感染により入所できなくなることを避けるため、衛生用品等が必要である。

- ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）

○：効率化は図られている △：向上の余地がある

(評価)

○ 県内施設のニーズや現状の把握に努めており、必要な物資の確保などの充実を図っていく。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	